

ASOSA

巻頭言

北里大学獣医学部の国際交流 -学部 50 周年を迎えるにあたって-

北里大学 獣医学部長
高井 伸二



北里大学獣医学部は昭和 41 年 4 月、青森県十和田市に、北里大学の 3 番目の学部として畜産学部が設立されて以来、平成 28 年 4 月には満 50 周年を迎えます。当時、入学定員 100 名（畜産学科 70 名・獣医学科 30 名）の学部として設置されましたが、昭和 56 年 4 月には畜産土木工学科を創設し、獣医学教育 6 年制の修士積み上げ教育から昭和 59 年には獣医学 6 年制一貫教育となり、獣医畜産学部に変更、更に、平成 19 年には獣医学部（獣医学科 120 名・動物資源科学科 120 名・生物環境科学科 80 名）に改組し、獣医学科は 5,776 名、動物資源科学科は 4,496 名、生物環境科学科は 3,051 名、合計 13,323 名の卒業生を輩出して参りました。

十和田キャンパスにおける国際化の歴史を振り返ってみますと、1989 年（平成元年）に長春農牧大学（中国吉林省長春市）との間に学術交流協定を締結したのが最初で、大学設置後 23 年目でした。両大学間からの特別交換研究員（教員）と視察団の派遣が中心の交流で、中国からの特別交換研究員（1 年間）の総数は 10 数名となり、本学からも 5 名が短期派遣され、その学術協定の目的を十分に果たしました。また、中国・長春農牧大学における 5 年生を対象とした夏期研修も実施しましたが、現在は休止しております。

1993 年（平成 5 年）に獣医学科国際交流検討委員会が発足し、米国の 28 獣医大学との国際交流の交渉を開始、1994 年には 5 つの大学の現地調査を実施し、学部創設 29 年目の 1995 年（平成 7 年）に、ジョージア大学獣医学部、テネシー大学獣医学部、パーデュー大学獣医学部の 3 大学との国際学術交流協定を締結しました。これにより米国 3 大学夏期研修事業として獣医学科 5 年生（各大学 8 名と同行教員 1 名）が夏休み期間に 2 週間の病院実習に参加するプログラムが開始、同時に、米国 3 大学からも臨床系教員を中心に各大学毎年 1 名を約 1 週間の短期招聘し、十和田キャンパスでの講義・セミナーを開催しております。この事業は本年で 21 年目を迎え、派遣学生総数 461 名、同行教員 63 名、米国 3 大学からの招聘教員 49 名、米国 3 大学からの研修学生 4 名となりました。学生に最も人気のある海外研修事業となっております。本学卒業後、ジョージア大学とパーデュー大学の 2 大学の大学院博士課程に進学し、学位取得後、米国大学の教員として活躍している卒業生もおります。

これまで散発的に海外国費留学生の受入はありましたが、2006 年からタイ・マハナコン工科大学獣医学部の教員を本学・獣医学系研究科博士課程に引き受けることとなり、これまでに 5 名が学位を取得しました。マハナコン工科大学を中心としたアジアの大学から 7 名の留学生が本学博士課程に在学しております。アジアの大学との国際交流は、中国・長春大学以外に、タイのマハナコン工科大学並びに韓国・建国大学との学術協定

を学部創設 46 年目の 2012 年に締結しました。これまでの国際交流活動を振り返りますと、本学 50 年の教育・研究活動の成長を垣間見ることができ、国際交流活動は大学の発展と貢献に不可欠であることが今更ながら再確認できました。